

## ●春は花桃が咲き乱れ、まるで桃源郷のようです。

〇春は花桃の季節です。

●3月は花桃が咲く季節です。公園でも多くの花桃が花を咲かせます。2月は梅、3月は花桃、4月はソメイヨシノの順で花が咲きます。この時期、ひな祭りに桃の花を飾るのは、旧暦の3月3日にちょうど桃の花が咲いていたからだといわれています。昔の野山には、春になると桃の花を咲かせていたのかもしれませんが。桃の花のかわいらしいピンク色は、今も昔もひな祭りのイメージにぴったりあっていただのかもしれませんがね。



## 〇花桃の種類について

●園内には、主に6種類の花桃が植えられています。園内の9割が『矢口（やぐち）』という品種で、他の花桃に比べて早く咲きます。また、『菊桃（きくもも）』と呼ばれる品種は花びらが菊の花のような形状をしています。『源平（げんぺい）』は、一つの木に紅白2色の花がつく、珍しい花桃です。また、空に向かってまっすぐに枝を伸ばす、『照手桃（てるてもも）』、真っ白い花を咲かせる『寒白（かんぱく）』、低い高さで花を楽しめる『寿星桃（じゅせいとう）』もあります。また、その他にも『源平しだれ』といった珍しい品種も植えられています。

**邪を打ち払う桃の力！**  
古事記によると、イザナギノミコトが黄泉の国へ行った帰りに桃の実を投げつけて化け物を追い返した、という話があります。そのことから、桃の木には魔除けの効果があるといわれています。昔は女性に桃の木でつくられた櫛を贈る習慣がありました。また、筑波山神社で行われる「年越祭」では、この公園の桃の枝でつくられた弓を使用しています。

## 〇名前がややこしい、カンヒザクラとヒガンザクラ



**カンヒザクラ（寒緋桜）**  
釣鐘状の一重咲きで、半開きの花を下向きに咲かせます。別名ヒガンザクラ（緋寒桜）とも呼ばれます。名前がよく似ているヒガンザクラとは別の種類ですので、間違えないようご注意ください。



**ヒガンザクラ（彼岸桜）**  
ちょうど春の彼岸（3月20日）頃に開花することからこの名前が付けられました。ソメイヨシノより小ぶり、直径2～3cmのかわいらしい花を咲かせます。

**公園の花桃は何本？**  
園内にはおよそ1600本の花桃が植えられており、一面に桃の花が咲き乱れます。その景色は、さながら桃源郷のようです。

## ●穏やかな春の日差しを浴びながら、花桃を楽しんでみてはいかがでしょうか？

【発行】（一財）古河市地域振興公社 古河公方公園（古河総合公園）〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

〇てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。 [古河公方公園](#) [検索](#)

